



「R & I ファンド大賞 2023」投資信託部門 最優秀ファンド賞 受賞のお知らせ

アムンディ・ジャパン株式会社

アムンディ・ジャパン（東京都港区、代表取締役社長：ローラン・ベルティオ）は、「R&I ファンド大賞 2023」投資信託部門において、下記のとおり最優秀ファンド賞を受賞いたしましたので、お知らせいたします。

➤ 最優秀ファンド賞 受賞ファンド

ファンド名	部門	カテゴリー
アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド	投資信託 20 年	国内株式バリュー
日興・レジェンド・イーグル・ファンド(資産成長コース) 日興・レジェンド・イーグル・ファンド(毎月決算コース)	投資信託 10 年 投資信託	外国株式バリュー
ワールド・バリュー・アロケーション B コース(為替ヘッジなし)	投資信託 10 年	外国株式バリュー
アムンディ・サステナブル・インカム・ファンド（愛称：みらい定期便®）	投資信託	バランス比率変動型(標準)

アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンドは、国内の上場銘柄の中から、実質的な資産価値からみて割安であり、株主価値の増大を図る余力がある銘柄に投資します。2000 年のファンド設定来、一貫してディープバリュー*投資を行い、中でも、株主還元余力のあるキャッシュリッチ企業に着目します。時代に先駆けて企業価値向上を目指し、投資企業と向き合い、対話を通じて提案を行ってきた当ファンドは、日本企業にも変化が求められている今、また注目されています。

詳しくはファンド情報のページをご覧ください。 <https://www.amundi.co.jp/fund/134000.html>

*PBR で見ても割安であり、市場の平均 PBR に対しても割安、かつ PBR 1 倍割れしている銘柄

日興・レジェンド・イーグル・ファンド(資産成長コース)、(毎月決算コース) および**ワールド・バリュー・アロケーション B コース(為替ヘッジなし)** の主要投資対象ファンドは、米国の運用会社、ファースト・イーグル・インベストメンツのグローバル・バリュー・チームが運用しています。

両ファンドの運用成果は、ファースト・イーグル・インベストメンツの運用チームの投資哲学「資産の保全」に基づく徹底したバリュー投資の結果であり、長期的な投資による成功の鍵は大きな損失を出さないこと、という信念に基づいています。ベストな投資タイミングを逸することのないよう、現金比率を高めに維持するとともに、金融市場に混乱が起き、株式市場が下落した時など、不測の事態に備え、金関連資産を保有する等、独自性の高い運用哲学に基づき、長期的な収益機会をお客さまに提供して参りました。

詳しくは各ファンド情報のページをご覧ください。

日興・レジェンド・イーグル・ファンド(資産成長コース) <https://www.amundi.co.jp/fund/172009.html>

日興・レジェンド・イーグル・ファンド(毎月決算コース) <https://www.amundi.co.jp/fund/100026.html>

ワールド・バリュー・アロケーション B コース(為替ヘッジなし) <https://www.amundi.co.jp/fund/100035.html>

アムンディ・サステナブル・インカム・ファンド（愛称：みらい定期便[®]）※は、世界中のあらゆる資産からインカムを生む様々な資産に投資し、資産配分を機動的に変更することで、投資信託財産の成長を図りながら、安定的かつ持続的（サステナブル）な分配金を、原則として、提示した目標分配額に基づきお支払いするよう設計したファンドです。2019年8月の設定以来、安定した分配金をお支払いしつつ、良好なパフォーマンスをご提供しています。

詳しくは当ファンドの特設サイトをご覧ください。

https://www.amundi.co.jp/fund/focus/teikibin_LP.html

※ファンドの名称「アムンディ・サステナブル・インカム・ファンド」の「サステナブル」は持続的（サステナブル）な分配金の支払いを目指すことから使用しています。

アムンディ・ジャパンはこの受賞を糧に、今後も長期的な観点でお客様の資産形成の一助となるよう、引き続き資産運用のソリューションとなる商品開発および提供に努めてまいります。

販売会社（五十音順）

アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド	日興・レジェンド・イーグル・ファンド (資産成長コース)、(毎月決算コース)
au カブコム証券株式会社 株式会社 SBI 証券 株式会社 荘内銀行 内藤証券株式会社 野村証券株式会社 ひろぎん証券株式会社 楽天証券株式会社 リテラ・クリア証券株式会社	SMBC 日興証券株式会社 株式会社 SBI 証券 株式会社 三井住友銀行 楽天証券株式会社
ワールド・バリュー・アロケーション B コース (為替ヘッジなし)	アムンディ・サステナブル・インカム・ファンド (愛称：みらい定期便 [®])
野村証券株式会社	株式会社 SBI 証券 株式会社 埼玉りそな銀行 百五証券株式会社 株式会社 みなと銀行 楽天証券株式会社 株式会社 りそな銀行

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド

投資リスク

ファンドは、主として国内株式など値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません。**ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割り込むことがあります。**ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因（投資リスク）は、これらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還、換金中止、流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。有価証券届出書作成日現在の料率上限は 3.3%（税抜3.00%） です。詳しくは販売会社にお問合せください。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に 0.3% を乗じて得た金額とします。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	信託報酬の総額は、信託財産の純資産総額に対し 年率1.87%（税抜1.70%） を乗じて得た金額とし、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用計上されます。 支払方法：毎計算期間末または信託終了のときに、信託財産中から支弁します。 ◆上記の運用管理費用（信託報酬）は、有価証券届出書作成日現在のものです。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用（監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。） ・信託財産に関する租税等 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

日興・レジェンド・イーグル・ファンド

投資リスク

各ファンドは、投資対象サブファンドへの投資を通じて、主として世界各国の株式など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります。）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません。**ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割り込むことがあります。**ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因としては、価格変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因（投資リスク）は、これらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還、流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。有価証券届出書作成日現在の料率上限は 3.3% (税法3.0%) です。
信託財産留保額	ありません。

投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	各コースの純資産総額に対し 年率1.232% (税法1.120%) をそれぞれ乗じて得た金額とします。各コースが投資する外国籍(ケイマン籍およびルクセンブルク籍)ファンドの有価証券届出書作成日現在の運用報酬の上限額は、各外国籍ファンドの運用資産の純資産総額に対し、それぞれ年率0.8%および0.1%を乗じて得た金額となります。したがって、当該運用報酬を考慮した場合の 各コースの実質的な負担の上限は、年率2.032% (=1.232%+0.8%) となります。ただし、「ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド」の運用報酬の最低金額は25万ドルとなっているため、純資産総額によっては年率2.032%を上回ることがあります。実際の信託報酬の合計額はサブファンドの組入状況、運用状況によって変動します。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目録見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。) ・投資信託財産に関する租税 等 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

ワールド・バリュー・アロケーション

投資リスク

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国の株式など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクがあります。)に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません**。ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割り込むことがあります**。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。
基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、流動性リスク、カントリーリスク、為替変動リスク、金利変動リスク、信用リスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因(投資リスク)は、これらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還、流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。有価証券届出書作成日現在の料率上限は、 3.3% (税法3.0%) です。
信託財産留保額	ありません。

投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	信託報酬の総額は、投資信託財産の純資産総額に対し 年率0.858% (税法0.78%) を乗じて得た金額とし、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間末または信託終了のときに、投資信託財産中から支弁します。 また、実質的な負担の上限は、純資産総額に対して 年率1.858% (税込) です。 ファンドの信託報酬率0.858% (年率・税込)に主要投資対象とする投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの(「ファースト・イーグルAIF」年率1.0%(上限) [※])を加算しております。実際の信託報酬の合計額は主要投資対象とする投資信託証券の組入状況、運用状況によって変動します。 ※この他に、「ファースト・イーグルAIF」においては成功報酬がかかりますが、運用状況によって変動するためその合計額は記載していません。
---------------	---

●「ファースト・イーグルAIF」の成功報酬について
成功報酬算定期間(毎年9月1日から翌年8月31日まで)において、「ファースト・イーグルAIF」の基準価額(当該日の成功報酬計算前)の収益率が、**3ヵ月米ドルLibor+4%(年率)*を上回った場合に、当該超過分に対して15%の成功報酬**がかかります。成功報酬は、日々計上(再計算)されず(値下がりの場合は戻し入れされます)。
*3ヵ月米ドルLiborが公表停止となるため、2023年6月末までにSOFR(担保付翌日物調達金利)+4.3%(年率)に変更される予定です。

◆上記の運用管理費用(信託報酬)は有価証券届出書作成日現在のものです。

その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目録見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。) ・投資信託財産に関する租税 等 ※その他、「ファースト・イーグルAIF」においてはルクセンブルクの年次税(年率0.01%)などの諸費用がかかります。 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。
------------	--

◆各ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

アムンディ・サステナブル・インカム・ファンド（愛称：みらい定期便[®]）

投資リスク

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として株式や債券など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません**。ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割込むことがあります**。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、デリバティブ取引に関するリスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因（投資リスク）は、これらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還、流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目録見書）の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

<投資者が直接的に負担する費用>

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。有価証券届出書作成日現在の料率上限は 1.1%（税抜1.0%） です。詳しくは販売会社にお問合せください。
信託財産留保額	ありません。

<投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用>

運用管理費用（信託報酬）	実質的な負担の上限	純資産総額に対して 年率1.63%（税込） [*] ※ ファンドの信託報酬年率0.88%（税込）に投資対象とする投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの（年率0.75%）を加算しております。ファンドの実際の投資信託証券の組入状況等によっては、実質的な信託報酬率は変動します。
◆上記の運用管理費用（信託報酬）は有価証券届出書作成日現在のものです。		
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用（監査費用、目録見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。） ・投資信託財産に関する租税 等 ※その他、組入投資信託証券においては、ルクセンブルクの年次税（年率0.01%）などの諸費用がかかります。 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。	

◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

ファンドに関する照会先

委託会社の名称：アムンディ・ジャパン株式会社

ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

お客様サポートライン：050-4561-2500（受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで）

アムンディについて

欧州を代表する資産運用会社であるアムンディは、世界トップ 10¹にランクインしており、世界で 1 億を超える、個人投資家、機関投資家および事業法人のお客さまに、伝統的資産や実物資産のアクティブおよびパッシブ運用による幅広い種類の資産運用ソリューションを提供しています。

世界 6 つの運用拠点²、財務・非財務のリサーチ能力および責任投資への長年の取り組みにより、アムンディは資産運用業界の中心的存在です。

アムンディは、35 カ国を超える国と地域で約 5,400 人³の従業員の専門知識と助言をお客さまに提供しています。クレディ・アグリコル・グループ傘下で、ユーロネクスト・パリ市場に上場するアムンディは、現在、約 270 兆円³の資産を運用しています。

アムンディ 信頼されるパートナー 日々、お客さまと社会のために

本件に関するお問合せ先：

アムンディ・ジャパン株式会社 広報室

e-mail：Amundi_Japan_PR@jp.amundi.com

直通：050-4561-2565

公式ウェブサイト：amundi.co.jp

当資料は、アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド、日興・レジェンド・イーグル・ファンド、ワールド・バリュー・アロケーションおよびアムンディ・サステナブル・インカム・ファンド（愛称：みらい定期便[®]）へのご理解を深めていただくことを目的として、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。当ファンドをお申込みの際には投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡しますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。

当資料は、弊社が信頼する情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性について弊社が保証するものではありません。また、記載されている内容は、予告なしに変更される場合があります。投資信託は、元本および分配金が保証されている商品ではありません。投資信託は値動きのある証券等に投資します。組入れた証券等の値下がり、それらの発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により損失を被ることがあります。したがって、これら運用により投資信託に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属いたします。投資信託は預金、保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

みらい定期便[®]は、アムンディ・ジャパンの登録商標です。

[2857450]

¹ 出所：インベストメント・ベンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ 500 社（2022 年 6 月版、2021 年 12 月末の運用資産額）に基づく

² 主要な運用拠点：ボストン、ダブリン、ロンドン、ミラノ、パリ、東京（アルファベット順）

³ 2022 年 12 月末現在。運用資産額は約 1 兆 9,000 億ユーロ、1 ユーロ=141.47 円で換算